

富士見市文化芸術振興委員会第3回会議録

日時	平成28年3月28日(月) 18:30~19:30
会場	鶴瀬公民館 第3集会室
出席者 (欠席者)	<p>■委員(順不同・敬称略) 加藤 健司、大橋 民子、野村 亨、氣賀澤 明子、佐藤 公誠、肥田 義武 関 知枝、星野 貴洋、東海林 尚文、高橋 敦子、長坂 靖夫、吉川 節男</p> <p>■事務局 市川地域文化振興課長、中嶋副課長</p> <p>■講師 キラリふじみ 松井館長</p> <p>《欠席者》</p> <p>■委員(順不同・敬称略) 秋元 節子、小倉 洋一</p>
会議内容	<p>■委員(順不同・敬称略) 加藤 健司、大橋 民子、野村 亨、氣賀澤 明子、肥田 義武 関 知枝、東海林 尚文、高橋 敦子、長坂 靖夫、吉川 節男</p> <p>■事務局 市川地域文化振興課長、中嶋課副課長、荒田主事</p> <p>《欠席者》</p> <p>■委員(順不同・敬称略) 秋元 節子、小倉 洋一、佐藤 公誠、星野 貴洋</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 加藤委員長</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 平成27年度 地域文化振興課で行った文化芸術事業について事務局より今年度行った文化芸術に関する事業について説明を行い、委員から意見を頂いた。</p> <p>委 員) 地域住民のコンサート、観客数が少なかったのは日程のせいである。 この時期はクラシックコンサートが多いので、日程を調整したほうがいい。</p> <p>事務局) 今後コンサートを行う際は、他のコンサートの日程を考えながら開催したい。</p>

委員) 子ども大学が今後美術等の多様な文化芸術の分野に展開していくのであれば、個々の講座ごとに募集をかけた方がより多くの参加者が集まるのではないか。

事務局) 多様な文化芸術を体験することが目的なので、通して受講してもらいたいと考えている。

委員) 子ども文化芸術大学は少ない予算で素晴らしい講師にお願いできたと思う。今後子どもたちが大きくなったときに何かを残すという観点で考えると、子ども文化芸術大学はある一つの内容に特化したほうがいいのではないか。

事務局) 今年度初めて行った事業なので、今後研究しながら検討していく。年度ごとに特化することも手法のひとつだと考えている。

委員) 合唱の指導者派遣について、学校によって日程が違うのはなぜか？

事務局) 講師の方や生徒さんの都合で学校ごとに日数が異なっている。

委員) 3年前に鶴瀬小に指導に行った。合唱部の練習はお昼休み等に行われたりと時間をとるのが大変であった。また顧問の先生によって、指導経験のばらつきがあった。顧問の先生をプロの音楽家が技術的な指導をする機会があってもよいと思う。

委員) 指導者派遣について危惧しているのが、コンクールの結果に固執しすぎると、子どもたちが歌うよろこびを感じられなくなってしまうのではないか。

委員) ふじみ野交流センターの文化祭でふじみ野小が出ていて、年々上手になっている。成果が出てきているのではないか。

委員) コンクールの結果だけでなく、歌う喜びを感じられる事業になるといい。

(2) 富士見市アクションプランについて

アクションプランの評価方法について案を委員に説明しご意見をいただいた。

委員) 事業をひとつひとつ評価していくのは、難しい。何を評価していけばいいのか。

事務局) 平成27年度は41の事業があった。この事業のポイントについて事務局がご説明しながら、評価をしていただく。行政の事業であるアクションプランの評価を行いながらだんだん形を変え、やりやす

い形に工夫していく。

委員) このアクションプランの個票はとても負担がかかることだと思う。チェックするのもとても大変である。

委員) 事業はどのように選定されているのか？

事務局) すべての課に調査をかけ、その事業について個票を出してもらったものをまとめている。

委員) 公民館がやっているのにここに掲載されていないものは、担当課から出てこなかったということか？

事務局) 作り方の問題もあり、なかなか統一させるのが難しい現状がある。検討していく。

委員) 個票を出しているところと出していないところがある。ある意味評価は行政でやっていけばいいことなのかなと思う。この委員会は、今後こういった施策を進めればいいのかについて議論していけばいいのではないか。

(3) その他

これからのスケジュールについて、事務局から説明した。

またマイナンバーについて、確認をさせていただきたいことを依頼した。

4 閉 会 氣賀澤副委員長